



1月の園だより

令和6年1月4日

目黒区立八雲保育園 園長

～明けましておめでとうございます～

2024年が明けました。年末年始はご家族で新しい年を迎える準備をして過ごされたのではないのでしょうか。保育園の玄関には5歳児クラスの子もたちが作ったしめ縄が飾られています。春の田植えに始まり、秋の稲刈りや脱穀、年末のしめ縄作りと一年を通して「米という食文化」に触れた子どもたちのしめ縄は、新たな気持ちで一年をスタートする皆さんを元気づけるように感じます。また昨年は、園内の活動に地域の方々と触れ合う機会も戻ってきました。12月には約4年ぶりに桜修館の高校生が遊びに来て、3、4、5歳児クラスそれぞれの子もたちに向けて考えてきたゲームで交流を深めてくれました。年齢が違う子どもたちと遊ぶには相手に寄り添った伝え方を考えないといけないので、思うようにゲームが進まない時も見られましたが、どの生徒も根気よく「これはね、こうして遊ぶんだよ」とゆっくり繰り返し、子どもたちが理解するまで説明してくれていました。保育園で一番大きい5歳児クラスの子もたちも、日頃は自分より小さな友達と過ごすため時には譲ったり待ってあげたりする機会も多いのですが、この日はどんな気持ちも「いいよ」と受け止めてもらい、最後まで「楽しいね、もっと一緒に遊びたいな」と笑顔がいっぱいでした。地域の人たちと触れ合いながら楽しさや心地よさを感じる中で、人への思いを大切に育んでいきたいと思います。

昨年は「第三者評価アンケート」のご協力をありがとうございました。現在第一次集計が終わりましたがご報告までもうしばらくお待ちください。保護者の皆様から頂いたご意見は、職員とも共有し園運営に繋げていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月の行事予定

新年おめでとう会
乳児お楽しみ会
お店屋さんごっこ（2、3、4、5歳児クラス）
2歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
身体計測 避難訓練

2月の行事予定

節分
0歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
身体計測 避難訓練

※クラス懇談会 0歳児クラス 16:30～17:30
他クラス 16:30～18:00



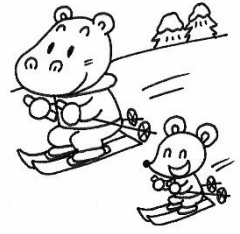
伝承遊び

幼児クラスでは、こま、すごろく、かるたを楽しんでいます。園で人気のかるたは『だじゃれかるた』です。子どもたちは朝夕の時間で4歳児クラスに集まり楽しんでいるのですが“りすのポリス”“キリンがトイレですっきりん！”“忍者は何人じゃ”など大人が聞いてもプツッと笑ってしまうかるたです。読み手の保育士が「布団がふっとんだ！」と読むと、子どもたちは真剣な表情で「はい！」と競って取り合っています。しかし、内容がだじゃれだけに何とも言えない空気が漂い保育士はつい笑ってしまいます。周りの子どもたちも、そんな雰囲気気付き集まってきます。見ている児が「あっ、チーターがおちた（落ちた）こっちにあるよ」など口に出すと、そこは通常のカルタ同様に「教えないで！」と言い合いが始まります。また、なかなか札が取れないと悔しくて泣いています。保育士が「もう一回やろう。次はきっともっと取れるよ。悔しかったね。」と言った後に「でもさ、布団がふっとんだって、なんだかすごいね。今日の朝〇〇君の布団もふっとんでなかった？」と声をかけると、その児も思わずクスッと笑っていました。かるた遊びで感じた悔しさが、だじゃれかるたで少しだけ和みました。この季節ならではの遊びを通して、友達とやり取りしながら楽しい思いや悔しい思いを経験したり、異年齢で関わる中で憧れの気持ちを抱き、挑戦する心を膨らませながら楽しんでいます。





クラスを超えた関わり



めだか組（0歳児クラス）

園庭で遊び始めると「いらっしゃいませー」と大きな声が砂場から聞こえてきました。子どもたちが何だろうと興味を持って覗きに行くと、らっこ組（2歳児クラス）の子どもたちが型抜きを並べてお店を開いていました。その様子をじーっと見ていたので、保育士が「ひとつくださいな」と頼むと「はーい」と元気な声でご飯を作ってくれました。保育士が受け取ると、手をたたいて“それをちょうだい”と仕草で訴えます。「いいよ。どうぞ」と手渡すと他の子どもも“ちょうだい”の仕草をしたので「お姉さんに、もう一つお願いしてみようか」と話すと、“ちょうだい”の仕草をしてお願いしていました。快く型抜きに砂を入れて作ってくれると、子どもたちは嬉しそうに笑ってパクパクと食べる真似をしていました。

保育士を通して他クラスの友達とやりとりする嬉しさや楽しさを感じていることに嬉しくなりました。これからも友達や人と関わるのが楽しいと感じられるように、子どもたちの関わりを仲立ちしたり、楽しさに共感したりすることを大切にしていきます。

ぺんぎん組（3歳児クラス）

子どもたちが、いるか組（4歳児クラス）に遊びに行くと絵を描いている児がいました。描いている絵に興味津々の児が“何描いているのかな？”というように、じーっと見えています。その視線に気が付くと「絵を描いてほしいの？描いてあげようか？」と優しく声をかけていました。すると「うん、描いてほしい」と、とても嬉しそうに返事をしていました。ドレスを着ているお姫様の絵を描いてもらっている間、わくわくした表情で出来上がっていく絵に目がくぎ付けです。いるか組の友達から「できたよ」と絵を渡してもらった児の顔はとても満足そうでした。

次の日、フリースペースで遊んでいると、昨日のいるか組の友達から「一緒に遊ぼう」と声をかけられて一緒に遊んでいました。これから子ども同士での自然な関わりを大切にしていきます。

